

報道機関 各位

「しまね地域未来ワークショップ」  
-2050年カーボンニュートラルを目指す-

◆本件のポイント！

本ワークショップには、「産・学・官・金・民」の各立場から計25名が参加。  
共に知見を交換し、活発な議論を展開します。

◆本件の概要

本学は、文部科学省科学技術・学術政策研究所（以下、NISTEP）と共催で、次期科学技術予測調査に向けた検討の一環として、地域の未来像の検討を行うワークショップを開催することとなりました。

本ワークショップでは、低炭素・脱炭素の実現、将来の地域課題等を踏まえ、2050年の地域のありたい姿（社会像）を検討し、カーボンニュートラル社会の実現に向けて、必要な取組（研究開発、サービス、社会制度等）やステークホルダーが何をすべきか等を議論します。

◆概要内容

「しまね地域未来ワークショップ」

■開催日時等

【日時】

1日目：令和5年10月19日（木）13：00-17：00

2日目：令和5年10月20日（金）10：00-13：00

【会場】

美保館（島根県松江市美保関町美保関570）

■スケジュール

別紙のとおり

■参加者団体

別紙のとおり

■共催

- ・ 文部科学省科学技術・学術政策研究所（NISTEP）
- ・ 国立大学法人島根大学

◆本件の連絡先

島根大学 研究・地方創生部 地方創生推進課  
地域協創グループ  
TEL：0852-32-9827

【 添付資料： ■あり(1枚) □なし 】

## スケジュール

### 1日目

種別	プログラム	時間	配分時間
全体	<b>開会</b> 挨拶：文部科学省科学技術・学術政策研究所 所長 大山 真美（オンライン） 島根大学 理事・副学長 大谷 浩 科学技術予測・政策基盤調査研究センターの紹介・全体趣旨・検討の流れの説明	13：00	15分 (5分) (10分)
情報共有	島根の「未来の状況」に関する情報の共有 * 話題提供…カーボンニュートラル社会／地域の将来：未来工研	13：15	20分
全体対話	■対話Ⅰ：理想とする島根の2050年の姿（将来社会像）の検討 * 対話の進め方（ワールドカフェ形式で、全員で交流） * 対話	13：35	80分 (5分) (75分)
—	【休憩】	14：55	15分
テーマ別対話	■対話Ⅱ：テーマ別の社会像の検討① ○対話①：社会像の「実現したい度合」と「カーボンニュートラルからみた重要度」による整理 ○対話②：テーマ別の社会像の実現に向けた、島根の機会、脅威、強み、弱みの検討 ○対話③：テーマ別の社会像の実現に向けて必要な取組みの検討	15：10 15：10 16：00 16：30	100分 (50分) (30分) (20分)
閉会	挨拶及び第2日目の案内	16:50	10分
—	第1日目終了	17:00	

### 2日目

種別	プログラム	時間	配分時間
全体	第2日目の進め方の説明	10：00	10分
テーマ別対話	■対話Ⅱ：テーマ別の社会像の検討② ○対話③：テーマ別の社会像の実現に向けて必要な取組みの検討（続き） ○対話④：ステークホルダー別の戦略・施策の検討〈各セクターの役割〉 ○対話⑤：社会像の実現の取組みを進めていく上で留意すべき点、懸念されるリスクの検討 ○対話⑥：優先すべき社会像（ビジョン）の設定、全体として抜けている視点の確認	10：10 10：10 10：40 11：10 11：30	100分 (30分) (30分) (20分) (20分)
—	【休憩】	11：50	10分
全体	<b>全体共有</b> ○全体共有①：各グループの発表（5グループ：各5分） ○全体共有②：成果に関する意見・コメント ○全体共有③：今日の経験を活かして取り組みたいこと（A4用紙＋発表）	12：00	60分 (25分) (20分) (15分)
閉会	閉会挨拶	13:00	

### 出席団体

島根大学教職員、島根県職員、浜田市職員、雲南市職員、大田市職員、島根県立大学教員、松江工業高等専門学校教員、協栄金属工業株式会社、株式会社イーグリッド、株式会社商工組合中央金庫、株式会社 魚の屋、しまね LINK、株式会社山陰合同銀行、株式会社ミライエ、島根県合板協同組合、島根県農業協同組合、株式会社 バイタルリード、株式会社シマネプロモーション、株式会社日本政策投資銀行、株式会社海土、一般社団法人中海・宍道湖・大山圏域観光局、株式会社島根銀行